

平成 18 年 11 月 9 日

各 位

会 社 名 サンコーテクノ株式会社
 代表者名 代表取締役社長 洞下 実
 (J A S D A Q ・ コード 3435)
 問合せ先 取締役経営企画室長 洞下 英人
 電話 (03) 3803-1270

平成 19 年 3 月期中間 (連結・単独) 業績予想の修正に関するお知らせ

平成19年3月期(平成18年4月1日～平成19年3月31日)の中間期及び通期(連結・単独)の業績予想について、平成18年5月15日付当社「平成18年3月期決算短信(連結)」及び同日付当社「平成18年3月期個別財務諸表の概要」にて発表いたしました業績予想を下記のとおり修正いたします。

1. 平成 19 年 3 月期中間期 (連結・単独) 業績予想の修正等

(1) 連結 (平成 18 年 4 月 1 日～平成 18 年 9 月 30 日)

(単位：百万円)

	売 上 高	経 常 利 益	中 間 純 利 益
前回予想 (A)	7,749	257	118
今回修正 (B)	7,811	250	207
増減額 (B-A)	61	△7	88
増 減 率	0.8%	△2.9%	74.7%
(ご参考)			
前期 (平成 17 年) 中間期	7,404	242	113

(2) 単独 (平成 18 年 4 月 1 日～平成 18 年 9 月 30 日)

(単位：百万円)

	売 上 高	経 常 利 益	中 間 純 利 益
前回予想 (A)	6,400	195	98
今回修正 (B)	6,388	170	193
増減額 (B-A)	△11	△24	94
増 減 率	△0.2%	△12.4%	95.8%
(ご参考)			
前期 (平成 17 年) 中間期	6,122	122	58

2. 平成19年3月期通期（連結・単独）業績予想の修正等

(1) 連結（平成18年4月1日～平成19年3月31日）

（単位：百万円）

	売上高	経常利益	当期純利益
前回予想（A）	16,929	846	448
今回修正（B）	16,929	846	480
増減額（B－A）	0	0	32
増減率	0	0	7.1%
（ご参考） 前期（平成18年3月）通期	16,360	845	462

(2) 単独（平成18年4月1日～平成19年3月31日）

（単位：百万円）

	売上高	経常利益	中間純利益
前回予想（A）	14,200	660	347
今回修正（B）	14,200	660	379
増減額（B－A）	0	0	32
増減率	0	0	9.2%
（ご参考） 前期（平成18年3月）通期	13,910	643	359

3. 修正理由

(1) 中間期（連結・単独）業績予想の修正理由

売上高につきましては、民間設備投資の好況を背景に、子会社である㈱IKKとの連携による電動工具の販売が順調に伸びたことや、付加価値の高い製品・工法への販売強化などの重点方策を推進したことにより、予想を若干上回る見込みとなりました。一方、利益面につきましては、鋼材価格の高騰により主力製品の原材料費がアップしましたが、外注加工費の削減や当社内の加工技術の改善による生産効率の向上等の企業努力で原価削減を推進したことにより、売上総利益は予想通り推移しました。しかし、人的投資に伴う販売管理費が予想を上回ったことで営業利益は低下し、これに伴い経常利益も低下しました。中間純利益につきましては、平成18年4月に実施した事業所の設備投資（開発部門や新事業部門の集約化等）により、これまで倉庫として使用していた固定資産（土地・建物）を売却したことにより特別利益が計上されたことで予想を大きく上回る見込みとなりました。

これらの要因により、平成19年3月期中間期（連結）の業績予想は、売上高7,811百万円（当初予算比0.8%増、前年同期比5.5%増）、経常利益250百万円（当初予算比2.9%減、前年同期比3.0%増）、中間純利益207百万円（当初予算比74.7%増、前年同期比83.6%増）となる見通しであります。

また、平成19年3月期中間期（単独）の業績予想は、売上高6,388百万円（当初予算比0.2%減、前年同期比4.3%増）、経常利益170百万円（当初予算比12.4%減、前年同期比39.1%増）、中間純利益193百万円（当初予算比95.8%増、前年同期比231.4%増）となる見通しであります。

(2) 通期(連結・単独)業績予想の修正理由

下期につきましては、民間の建設投資が強含みで推移していることを背景に売上は堅調に推移する見通しではありますが、上期に引き続き、主力製品の原材料である鋼材市況が高値で推移することが予想されることや人的投資に伴う販売管理費増が利益を抑制させる懸念があります。

これらの要因と上期実績を踏まえた平成19年3月期通期(連結)の業績予想は、売上高16,929百万円(当初予算を維持、前年同期比3.5%増)、経常利益846百万円(当初予算を維持、前年同期比0.1%増)、当期純利益480百万円(当初予算比7.1%増、前年同期比3.9%増)となる見通しであります。

また、平成19年3月期通期(単独)の業績予想は、売上高14,200百万円(当初予算を維持、前年同期比2.1%増)、経常利益660百万円(当初予算を維持、前年同期比2.6%増)、当期純利益379百万円(当初予算比9.2%増、前年同期比5.6%増)となる見通しであります。

以上